



# 高輪だより

令和6年度10月号

港区立高輪幼稚園

園長 佐藤 幸子

わくわく ぼかぼか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

## 体を動かす楽しさを味わう

園長 佐藤幸子

ようやく、風が爽やかになってきました。スポーツの秋到来。これからは、子どもたちが大好きな外遊びもたくさんできそうです。

さて、先日は、東京都幼稚園・こどもPTA連絡協議会の催しで、親子触れ合いフェスタがありました。今回は、ツボタマンが来て親子で運動遊びを楽しみました。

ツボタマンが、親子で手をつなぎ、大人の膝を登って一回転する動き。大人が足を伸ばして座り、足を閉じたり、開いたりするのを子どもが跳ぶ動き。親子で向き合って手をつなぎ、大人が足を踏もうとするのを子が逃げる動きなど、親子の触れ合い遊びを多数紹介してくださいました。参加された親子は、歓声をあげながら楽しんでいました。

これらの動きはとても大切で、回転する動きは、逆上がりの動きにつながり、三半規管を鍛えることにもなります。タイミングよく跳ぶことは縄跳びの動きに、足を踏む遊びは、速く足を動かして、走る動きにつながるそうです。

幼児期にいろいろな運動遊びを楽しむことは、生涯スポーツを楽しむ基礎となり、ひいては、長寿社会を健康に生き抜くことにつながります。また、幼児期は、1つの動きに特化することなく、様々な動きを経験するなかで、総合的に発達が促されます。

本園でも、運動遊びの河合秀太郎先生に来ていただき、運動遊びを楽しみました。先日、すみれ組がみんなで、教えてもらったパラバルーンの様々な遊びをしているところを見ていた時のことです。子どもたちは、バルーンに触りたくてうずうずしていました。先生の話の間もバルーンを掴んで振ったり、引っ張ったりしています。とにかく触りたいという気持ちが伝わってきます。合図に合わせて左右にバルーンを振る「波」をするときにはうれしくて、合図も構わず、とにかく左右に手を振る子どもが数人いました。担任は、子どもたちに「みんなうれしくて触りたいんだよね。でも、河合先生は、何と言っていたかな」と声を掛けました。すると、その言葉にバルーンの約束を思い出した子もいました。右手と左手を確認して再度挑戦します。すると、合図に合わせて動かしているうちに、バルーンの動きが合ってきました。「波」の動きが揃うとバルーンが左右に揺れてきれいです。バラバラに動かして合わないことを経験したからこそ、動きが合う心地よさが実感として感じられた瞬間でした。このような経験を重ねて、学級の一体感が育まれていきます。これからが楽しみです。



トライするぞ！  
屋上でタグラグビー



パラバルーン楽しいね



一緒に踊るの楽しいね